

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市東八幡4丁目老健 新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県平塚市東八幡4丁目958-2	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	207 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2016年5月20日
敷地面積	2,998 m ²	作成者	有限会社高橋貞住環境設計事務所
建築面積	1,731 m ²	確認日	—
延床面積	4,465 m ²	確認者	—



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

項目	スコア
Q1 室内環境	3.1
Q2 サービス性能	3.3
Q3 室外環境(敷地内)	2.8

LR のスコア = 3.4

項目	スコア
LR1 エネルギー	3.6
LR2 資源・マテリアル	3.3
LR3 敷地外環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合 近隣住民及び、近隣施設への環境に配慮した緑化計画を行い、潤いあるデザインとする。 機械設備は極力屋上へ配置し、遮音ルーバー等で囲うことにより、周辺への騒音に配慮する。 建物の外部建具にはペアガラスを使用し、空調負荷の低減を図る計画とする。 自然採光を極力取り入れ(中庭、吹抜け、開口部等)、照明負荷の低減を図る計画とする。	その他
Q1 室内環境 ペアガラスの採用、断熱材の強化により外皮性能を上げていくなど、温熱環境に配慮している。 屋光率を高め設定し、また、建物四周に庇を設置するなど、光・視環境に配慮している。	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。 補修必要間隔の長い配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。
LR1 エネルギー ペアガラスの採用、断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。 高効率空調機、LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や節水型機器を用いるなど、水資源を保護している。 OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。
	Q3 室外環境(敷地内) 中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される